

月刊[里親だより] 第41号

2011年12月16日(金)発行(公財)全国里親会
☎ 03-3404-2024 FAX 03-3404-2034
(HPやメーリングにアップしています。)

<http://www.zensato.or.jp/> E-mail: info@zensato.or.jp
メーリンググループ (情報提供や皆さんの意見交換の場です。)
zenkokusatooyakai@yahoo.com (何時でも加入脱退できます。)

■ 公益財団法人として認定

全国里親会は、平成23年12月12日付で内閣総理大臣から公益財団法人として認定されました。

これからは、公益目的事業として、次の事業を実施して行くこととなります。ご支援・ご協力をお願いします。

- ① 里親制度に関する調査研究
- ② 里親の育成
- ③ 里親制度の普及啓発
- ④ 里親の永年表彰
- ⑤ 里親に関する相談指導
- ⑥ 災害における孤児及び里親に対する支援

(全国里親会の会員の皆様には、新法人の登記が済みましたら、定款をお送りすることとしております。)

■ 里親会会長会議を開催

12月10日(土)13時から15時30分、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて会長会議が開催され、当面の懸案事項について協議されました。なお、以下の事項については、この後開催された理事会・評議員会において承認されております。

- 1) 平成24年度里親関係国の予算要求について
 - ① 里親担当職員の児童福祉施設への配置
 - ② 全国里親会に対する里親促進事業の廃止
 - ③ 里親支援機関の設置及び支援機関事業の促進
- 2) 全国里親会会員数及び会費納入の状況について
 - ① 会員数(団体会員数・会費)

平成21年度	平成22年度	平成23年度
4,808人	4,317人	2,963人
9,587千円	8,709千円	5,262千円

(金額は、個人会費を含む総額、23年度は11月末現在)

- ② 平成24年度の会員・会費について
ア 会員は、都道府県・市の里親会(地方里親会)に入会している里親等とする。
なお、地方里親会に入会せずに全国里親会に入会する場合は、賛助会員とする。
イ 会費は、会員一人当たり年2,000円とする。会費の納入は、地方里親会が会員分を取りまとめ、年度当初全国里親会に納入することとする。
ウ 賛助会員は、1口当たり2,000円を寄付金として納入することとする。(公益法人に対する寄付金の取り扱いについては、後日詳細を

お知らせいたします。)

3) IFCO(国際フォスターケア機構) 日本世界大会の開催について

今年の第16回世界大会は、7月10日から1週間にわたりカナダビクトリアで開催され日本から50人の里親や関係者、ユースが参加しました。

IFCO本部からは、第17回(2013年)大会を日本で開催するよう要請され、現時点では、大阪府、大阪市、堺市と大阪府里親連合会の協力を得て大阪で開催することとして積極的に検討してきました。

開催時期は、平成25年9月13日~16日、会場は、大阪国際交流センターを、参加者は、里親300人、施設関係者130人、ユース(18歳から25歳)100人、研究者等80人、海外から180人程度の規模を予定し、開催日の1日は全国里親大会も開催することとして検討することとしております。

年内には、実行委員会を立ち上げ、具体的作業を進めてまいります。ご意見ご要望を募ります。

4) 大震災子ども救援基金について

子ども救援基金には多くの方々から多大なご厚意とご支援をいただいております。

お陰さまで、7月にはご両親を亡くされたお子さんを養育されている方へ7万円を、また10月には10万円の一時金の支援をすることといたしました。被災地からの申請が殆どなかった(10月までの申請が3件)ため、災害時に養育を委託されていた被災里親家庭へのお見舞をすることとしました。

ところが、最近になって、一時金の支給申請が集中しており、見舞金が不足する状況になってきました。そのため、見舞金の申請状況を待ってから、基金の状況等も勘案して、見舞金の額を検討したいと思っております。大変申し訳ありませんが、被災された里親家庭におかれましては、もうしばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。なお、基金の残額が、どの位になるか分かりませんが、被災児童への奨学資金や就職支度金なども確保したいと思っておりますので、支援金や見舞金の申請受け付けは年内で終了にしたいと思っております。

■ 里親制度啓発のためのパンフレット

児童相談所や里親会の所在地や連絡先を記載したパンフレットを実費で作成いたします。ご注文下さい。

